令和6年度発信「農林水産研究タイムリー情報」バックナンバー

農林水産研究タイムリー情報

2024年6月3日時点　（合計13件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
①農業研究部		（計6件）				
1681	農業研究部	【令和6年度の新茶を収穫しました】 （2024.5.9発信） 農業研究部の茶園（豊後大野市、標高151m）で4月30日の「あさつゆ」を皮切りに一番茶の摘採、製茶が始まりました。3月末以降の萌芽は遅れ気味だったものの、その後の適度な降雨と高温傾向により、生育は順調です。摘採（約２ha）は5月7日まで行い、並行して試験区ごとの品質分析等の調査を進めています。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2024.5.31
1680	農業研究部	【新任普及職員（農業・畜産）を対象に研修を実施しました】 （2024.5.9発信） 今年度新たに県の農業と畜産の普及担当となった職員に対しての研修が行われました。4月25日には農業研究部のピーマン、かんしょ、白ねぎ、茶の圃場・施設見学を実施するとともに各研究員から試験概要の説明を行いました。 今後、5月末からは担当品目に分かれて専門技術研修を実施し、農業技術者として養成を支援していきます。	 研究員からの概要説明	農業研究部 果菜類チーム 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2024.5.31
1675	農業研究部	【白ねぎの肥料コスト低減に向けた試験を実施します】 （2024.4.18発信） 近年、海外情勢により化学肥料の価格が高騰している事から、今年度肥料コスト削減を目的とした新たな試験に取り組みます。そのうちの一つで化学肥料の代わりに鶏糞ペレットを活用した試験を実施します。4月12日に農業研究部の試験圃場（豊後大野市、標高151m）で白ねぎ品種「夏の宝山（みかど）」を定植しました。今後、肥料の違いが白ねぎの生育と収量等に及ぼす影響を明らかにする予定です。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2024.5.31
1674	農業研究部	【トマトの土壌水分率の現地実態調査を開始しました】 （2024.4.17発信） 灌水量や灌水頻度の違いによる土壌水分の動態を把握するため、竹田市のトマト生産者圃場(2戸)に土壌水分センサーを設置しました。 栽培期間を通して土壌水分のデータを測定し、灌水管理と土壌水分率の変動の関係を検証することを通じて生産者の栽培技術向上に役立てます。		農業研究部 果菜類チーム	0974-28-2081	2024.5.31
1672	農業研究部	【下水汚泥資源の活用促進に係るMAP混合液肥の製造利用技術に関する実証研究】 （2024.4.10発信） 当チームは化学肥料の代替として、下水汚泥資源から開発された再生リン(MAP)混合液肥を用いてピーマンの栽培実証試験を進めています。 4月5日に農業研究部内のハウスでピーマンを定植しました。今後は窒素成分の異なる2種類のMAP混合液肥と市販の液肥で、ピーマンの生育・収量を比較してMAP混合液肥の肥料代替適応性を検証します。		農業研究部 土壌・環境チーム	0974-28-2072	2024.4.30
1671	農業研究部	【茶の萌芽調査をしています】 （2024.4.9発信） 茶の収穫適期の指標となる萌芽の調査をしています。大分の今年の桜は昨年より2日遅く満開となりましたが、農業研究部の茶園（豊後大野市、標高151m：品種「やぶきた」）は、昨年よりも7日遅い4月5日に萌芽しました。予想気温、平年気温から推測すると、摘採日は昨年より4日遅い5月1日となりそうです。		農業研究部 葉根菜類・茶業チーム	0974-28-2082	2024.4.30

令和6年度発信「農林水産研究タイムリー情報」バックナンバー

農林水産研究タイムリー情報

2024年6月3日時点　（合計13件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限

②水田農業グループ　（計0件）

	水田農業グループ					

令和6年度発信「農林水産研究タイムリー情報」バックナンバー

農林水産研究タイムリー情報

2024年6月3日時点　　（合計13件）

③果樹グループ　（計1件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
1676	果樹グループ	【カンキツの摘蕾作業】 （2024.4.22発信） 5月になるとカンキツ類が白い花を咲かせ始めます。当チームが所在する津久見市では、連休明けの5月10日頃に開花のピークを迎えます。開花を前に「摘蕾（てきらい）」という蕾（つぼみ）を摘み取る作業を行っています。樹の状態にあわせて蕾を摘み取ることで、弱った樹の樹勢回復や幼木の枝の伸長を促します。		果樹グループ カボス・中晩柑チーム	0972-82-2837	2024.5.31

令和6年度発信「農林水産研究タイムリー情報」バックナンバー

農林水産研究タイムリー情報

2024年6月3日時点　（合計13件）

④花きグループ　（計2件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
1678	花きグループ	【シクラメンの鉢上げを行っています】 （2024.4.25発信） 冬を彩る花といえば真っ先に思い浮かぶのがシクラメンです。現在、花きグループではセルトレイで育苗した苗をポットに移し替える作業を行っています。今年は定番の花色である赤やピンク、白に加え、芳香を放つものなど様々な種類のシクラメンを試験の一環で栽培しています。11月中旬から場内販売を行いますので、お気軽にお越しください。		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2024.5.31
1677	花きグループ	【露地でも栽培できるホオズキの定植を始めました】 （2024.4.25発信） これまでの本県のホオズキ栽培はハウス栽培が中心でしたが、パイプ等各種資材が高騰しており、このことが新規栽培者の参入や既存農家規模拡大の妨げになっています。そのため、露地や低コストで導入できるミニハウスで生産可能なホオズキ栽培の技術開発に取り組んでいます。現在ホオズキの定植を行っており、今後は生育調査を行います。		花きグループ 企画指導担当	0977-66-4706	2024.5.31

令和6年度発信「農林水産研究タイムリー情報」バックナンバー

農林水産研究タイムリー情報

2024年6月3日時点　（合計13件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限

⑤畜産研究部　（計1件）

1679	畜産研究部	【就農準備研修（畜産コース）開講式が行われました】 （2024.4.25発信） ４月５日に令和６年度就農準備研修開講式が行われました。今年度、県内での自営就農を希望する３名が３月４日までの１１カ月間、畜産の知識や技術を学ぶとともに、家畜人工授精師免許などの各種資格・免許取得を目指し畜産研究部で研修を行います。 将来の畜産担い手として大いに期待されます。		畜産研究部 企画指導担当	0974-76-1214	2024.5.31

令和6年度発信「農林水産研究タイムリー情報」バックナンバー

農林水産研究タイムリー情報

2024年6月3日時点　（合計13件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限

⑥林業研究部　（計0件）

	林業研究部					

令和6年度発信「農林水産研究タイムリー情報」バックナンバー

農林水産研究タイムリー情報

2024年6月3日時点　　　　（合計13件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限

⑦きのこグループ　　　　（計0件）

	きのこグループ					

令和6年度発信「農林水産研究タイムリー情報」バックナンバー

農林水産研究タイムリー情報

2024年6月3日時点　　　　　（合計13件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限

⑧水産研究部　　　　　（計2件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
1683	水産研究部	【養殖関連事業説明会を開催しました】 （2024.5.10発信） 4月23、25日に陸上養殖（主にヒラメ、トラフグ）業者を対象に当部の関連事業の説明会を佐伯市で開催しました。 近年の養殖魚の病気の発生動向や、IoTを活用した自動給餌機能や水槽監視システムの開発状況の説明のほか、ヒラメの食中毒の原因となる寄生虫クドア・セプテンプンクタータの検査に関する注意点などを周知しました。		水産研究部 養殖環境チーム	0972-32-2155	2024.5.31
1673	水産研究部	【流れ藻分布及びモジャコ(ブリ稚魚)の付着状況調査を実施中！】 （2024.4.15発信） ブリの養殖用種苗として稚魚を採捕する今年度の「モジャコ漁」が4月1日に大分県海域で解禁されました。当研究部では、3月中旬から5月上旬まで6回程度、調査船「豊洋」で海面に漂う流れ藻を採取し、流れ藻に集まるモジャコ等の付着状況を調べ、結果を速やかに県内のモジャコ漁業関係者に提供しています。	 	水産研究部 資源増殖チーム	0972-32-2155	2024.5.31

令和6年度発信「農林水産研究タイムリー情報」バックナンバー

農林水産研究タイムリー情報

2024年6月3日時点　　（合計13件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限
⑨北部水産グループ	（計1件）					
1682	北部水産グループ	【新たなアユの遡上調査を実施中】 （2024.5.9発信） 当グループでは毎年、大野川のアユの遡上時期や遡上サイズを把握するために、アユの遡上調査を実施しています。今年は遡上量も把握するため、初めて定置網を用いた捕獲を試みました。雨による増水で何度か中断しましたが、今後、新たな調査方法となるよう漁業者の意見等を参考に改善していきます。		北部水産グループ 養殖環境チーム	0978-22-2405	2024.5.31

令和6年度発信「農林水産研究タイムリー情報」バックナンバー

農林水産研究タイムリー情報

2024年6月3日時点　（合計13件）

整理番号	所属名	情報内容	画像、図等	問合せ先	電話番号	掲載期限

⑩農林水産研究指導センター（計0件）

	センター本部					